

懇話会での委員の主な意見について

【議題:ミュージアム運営の今後の方向性】

(集客に向けての取組)

- 雑誌などでの広報の場合、できるだけ記事として取り扱ってもらった方が効果があると思うので、そうした働きかけを行うべき。
- 一年のうちで季節により、来館者の多い少ないがあると思うが、運営上はそれほど気にすることはなく、少ない時期には、資料の整理や研究などに力を入れれば良い。
- イベントをやるにしても、うまくできたこと、できなかったことを見える化し、分析したうえで次につなげることが重要。
- 高校修学旅行は全国的に1月など冬に行われることが多い。冬が閑散期ということなので、高校の修学旅行に対象を絞るのもよいかもしれない。
- 高齢者の方が集団で、いろいろなところに行くという可能性もあるので、少し幅を広げて働きかけを行うことも必要。

(誰もが立ち寄りやすいミュージアムの環境づくり)

- 来館者が、それぞれの立場で利用しやすい環境をつくる必要がある。例えば、スタディツアーが多い時期には、それを主にした館の運営(机、椅子の配置など)を行う。
- 音楽や絵画など芸術的な要素を取り入れると良いのではないかな。

(平和学習の拠点施設としての機能向上)

- 将来のことも踏まえて、空襲体験だけに限らず戦後の復興に関する証言も今のうちから、ひろく集めておくことが必要ではないかな。
- 学生ボランティアについては、こういう企画があるということを、まず、学生に届けないと参加してもらえない。どうアプローチしていくかが大事。